

平成25年度 総務部 運営方針

H25.4.22
経営会議資料2
(総務部)

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを簡条書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
・施策の総合的推進 ・安全・安心の推進 ・まちの活力づくり ・財政健全化の早期実現 ・人材育成	・美唄市まちづくり基本条例 ・びばい未来交響プラン前期基本計画 ・美唄市地域防災計画・水防計画 ・美唄市財政健全化計画 ・美唄市情報化推進計画 ・美唄市男女共同参画計画

2 部の経営資源

部の構成

総務課、企画課、財政課、契約管財課、危機管理対策室

(平成25年4月1日現在。予算規模は平成25年度予算書から集計。基金造成、諸支出金除く)

職員数		予算規模 (単位：千円)									
正規	44 人	一般会計	360,861	会計	0	会計	0	会計	0		360861
嘱託	6 人	関係職員費	331,375	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0		331375
臨時	2 人	公債費	3,867	公債費	0	公債費	0	公債費	0		3867
計	52 人	計	696,103	計	0	計	0	計	0	合計	696103

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に簡条書で)

○施策の総合的推進 事務事業インデックスの策定 (H26～H28)、行政評価の実施 (まちづくりアンケート等)、ホームページ改修 (SNS導入含む)、男女共同参画の推進、協働のまちづくりの推進等
○安全・安心の推進 空き家対策の検討 (空き家管理条例策定・解体費助成制度の検討)、防災ガイドマップの作成 防災資機材整備、自主防災組織の設立促進、公共施設耐震化の検討 (庁内検討委員会)
○まちの活力づくり 美唄サテライト・キャンパス事業の推進、移住・定住施策の推進
○財政健全化の早期実現 財政健全化計画の推進、決算を踏まえた計画の見直し、土地開発公社の経営健全化 (土地売却等)
○人材育成等 職員研修の充実、人事管理の適正化 (再任用制度の見直し検討)
●その他 (専修短大施設跡利用対策、市内廃校舎の利活用等、光回線の普及、入札契約手続きの評価・見直し)

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値	H22決算	H23決算	H25目標値	H27目標値	備考
性別役割分担意識からの解放率	47.3%		42.7%	60%	60%	
審議会女性登用率	19.5%		20.9%	30%	30%	
平和記念行事数	4件		4件	4件	4件	
自主防災組織率	8.2%		10.4%	15%	25%	
まちづくり参画度	16.7%		25.1%	20%	20%	
連結実質赤字比率	8.14%		9.84%	7.21%	△0.15%	健全化計画

5 事務事業インデックス I 期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
6～1	特別職給与の見直し	独自削減の継続
6～2	一般職給与の見直し	独自削減の継続
6～3	一般職特殊勤務手当の見直し	組合との協議継続
6～4	職員数の見直し	定員適正化計画の見直し
6～5	財産収入の確保	遊休・未利用財産の売却・貸付等の促進

6 年間スケジュール (3に記載した事項)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
施策の総合的推進	事務事業インデックスの策定			各課ヒアリング					仮インデックス作成		インデックス完成		
	まちづくりアンケート	アンケート内容の庁内確認		アンケート実施		結果とりまとめ・成果指標の確認・							
	ホームページ改修等	現掲載情報の確認及び更新(各課での更新を確認)、TOPページの書式、項目別ページの整理、職員研修、SNSサイトの本格運用(11月～)											
安全・安心の推進	空き家管理条例等	先進事例等調査検討					条例(素案)・制度(素案)策定		庁議・議員協議会	パブコメ	最終案決定	議会提案	
	防災ガイドマップ	委託発注、事例調査、資料収集、意見収集					作成、印刷			配布			
まちの活力づくり	サテライトキャンパス事業	5月～1月 産業系人材養成講座、まちづくりを担う人材養成講座、市民教養講座										フォーラム・成果発表会・交流会	
	広報活動等	8月～10月地域と大学の連携による協働事業 / 役員会・大学との検討										役員会・大学との検討 総会	
	移住・定住促進施策の推進 助成制度PR	移住定住推進協議会役員会	同協議会総会	(助成相談・申請随時受付)									
			決算統計	4指標監査提出	24決算実績と計画数値の整理	4指標議会報告		4指標・計画見直し版作成	予算編成作業開始	予算案決定			
財政健全化の早期実現	インターネット活用など市有地・公社用地の売却促進、廃校舎等不動産鑑定の実施、売却公募			土地開発公社経営健全化計画見直し作業									
	職員研修		管理職研修	民間企業等短期派遣研修			新規採用後期						
人材育成等	新規採用前期	北海道市町村職員研修センター、市町村アカデミー派遣(6～2月随時)											
	再任用制度見直し	該当者意向調査	国の動向・他自治体の動向調査			制度内容検討			条例改正	意向確認			

平成25年度 市民部 運営方針

H25.4.22
経営会議資料2
(市民部)

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを簡条書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
・国民健康保険、後期高齢者医療制度の健全な運営と医療費助成によるやさしさと健康のまちづくりの実現	
・生活習慣病を防止や予防するため、より一層の受診率向上に努め、長く健康に生活することを目指す。	・特定健康診査等実施計画
・防犯や交通安全運動、市民バスの運行などによる安全で安心な地域づくりの実現	・地域公共交通総合連携計画
・ごみの減量化と資源の有効利用、環境への負荷の少ない循環型社会の創造と美しきまちづくりの実現	・ごみ処理基本計画 ・南空知3市町地域循環型社会形成推進地域計画
・自主財源である市税等の適正な確保及び納税者の公平な税負担による行政への信頼関係を構築する。	・財政健全化計画

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に簡条書で)

・ 国保事業の健全運営 のための方策の実施及び検証 医療適正受診対策や健診受診・ 保健指導の推進
・国保税改定の検討 税率2年据え置き後の状況確認後直ちに方針の検討を行う。
・ 戸籍電算化事業 2年次中の1年次目 事業者選定のためのプロポーザル審査会立ち上げ / 契約(7～8月予定)
戸籍データ化セットアップ着手 平成26年8～9月に「現在戸籍」電算化開始 平成27年2月「除籍等」開始で完全電算化
・地域安全活動の推進(交通安全、地域安全)
・ 市内バス路線、乗合タクシー による路線維持のための財政支援
・ 乗合タクシーの実証運行 (茶志内日東地区、中村沼の内地区、西美町開発地区)
・ごみの減量化に向けての推進(町内会等の集団回収の促進)
・ 生ごみ堆肥化、可燃ごみ広域処理 の検討
・ し尿等共同処理
・ 市税等の収納率向上
現年分の収納対策を強化し、早い時期での催告書等で新規滞納繰越額を抑制する。 滞納繰越分については、滞納者の払税能力を適切に見極めるため、きめこまかな納税相談・指導を実施し、あわせて給与・預金並びに換価を前提とした不動産、自動車、動産などの財産調査を徹底し、差押を強化するとともに、払税能力を見極め、滞納処分の停止を適切に行う。 また、「納税しやすい環境づくり」として、引き続きコンビニ収納について、調査、検討するほか、滞納整理マニュアルを徹底し、一層の滞納整理強化に取り組むとともに、 北海道との交流事業を活用し、新たに、搜索による動産等の差押に着手する。

6 年間スケジュール(3に記載した事項)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国保事業の健全運営		・国保会計補正予算	決算分析 (事業計画)	運営協議会(委嘱) 決算状況報告		国保会計補正予算・委員委嘱・適正受診対策 (多重複受診)	運営協議会(事業状況/改定検討)	適正受診対策 (ジェネリック通知)	運営協議会 (事業状況/改定案)	運営協議会(改定案) 適正受診対策 (多重複受診)	運営協議会	条例 適正受診対策 (ジェネリック通知)
特定健診・特定保健指導の推進(計画作成含む)		推進検討委員会 健診準備(受診券)	受診券発送 (年度末迄有効)	個別健診開始	集団健診開始	特定保健指導 開始			推進検討委員会			個別健診終了 推進計画完成
戸籍の電算化事業		プロポーザル審査会 立ち上げ		プロポーザル実施	契約/データ化セット アップ着手	岩見沢支局 主管者会議						
乗合タクシーの本格運行	我路&盤の沢地区本格運行 茶志内等新地区の予備運行						日東・茶志内・上美町・ 中村等新地区 本格運行					
地域公共交通活性化		協議会開催				協議会開催				協議会開催		
生ごみ堆肥化、可燃ごみ広域 処理の検討	・生活環境調査 ・堆肥施設基本設計	・第1回減量等審議会 ・広域処理協議 ・堆肥化都市計画支援		・自治組織代表者会議 (堆肥化の説明)		減量等審議会		・減量等審議会 ・広域処理協議			減量等審議会 広域処理	
し尿等共同処理	し尿幹事会	下水&し尿総会	し尿幹事会		し尿幹事会		し尿幹事会		し尿幹事会		し尿幹事会	
市税等収納対策の推進	強調週間	強調月間		滞納一斉催告			強調月間	強調週間	強調月間	強調週間	強調週間	強調月間
	現年催告				預金調査 給与調査		収納対策本部設置		収納特別対策本部 設置・管理職徴収・現年催告・インターネット公表			

2 部の経営資源

部の構成

市民課・生活環境課・税務課

(平成25年4月1日現在。予算規模は平成25年度予算書から集計)

職員数		予算規模(単位:千円)									
正規	45 人	一般会計	688,688	バス会計	41,937	国保会計	3,823,833	後期会計	751,042		5,305,500
嘱託	8 人	関係職員費	331,029	関係職員費	3,641	関係職員費	67,593	関係職員費	-		402,263
臨時	6 人	公債費	-	公債費	-	公債費	10	公債費	-		10
計	59 人	計	1,019,717	計	45,578	計	3,891,436	計	751,042	合計	5,707,773

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値 (H23決算)	H27目標値	備 考
ごみの適正分別率	79.9%	86.0%	
リサイクル率	13.8%	18.2%	
市税収納率	現年分 97.14% 滞納分 13.22%	現年分 98.0% 滞納分 15.0%	

5 事務事業インデックス I 期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
6__6	市税収納対策の強化	預貯金・給与等の財産調査及び差押の実施
6__11	東美唄出張所の見直し	状況調査のうえ打ち合わせ開始

5 自立推進計画実施事項

--	--	--

平成25年度 保健福祉部 運営方針

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを簡条書で) 「美唄市福祉のまちづくり条例」の理念に基づいて施策を推進

項 目	根拠となる計画・指針等
・地域福祉の充実(市民力・地域力による地域社会の形成)	・美唄市地域福祉計画
・障がい者の自立生活と地域移行支援施策の推進	・美唄市障がい者プラン
・子育て支援ネットワークの構築など総合的子育て支援	・びばいっこすくすくプラン
・高齢者が安心して暮らせる地域包括ケア体制の充実	・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
・介護サービスの充実	・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
・介護予防や地域を基盤とした健康づくりの推進	・高齢者保健福祉計画、びばいヘルシーライフ21
・ライフステージに応じた健康づくりの推進	・びばいヘルシーライフ21
・地域医療の確保	・美唄未来交響プラン前期基本計画

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に簡条書で)

①地域生活課題解決の自主事業を支援する地域福祉ネットワーク事業の推進
②地域福祉会館の整備(光珠内福祉会館)
③障がい者が地域で安全に暮らせる地域生活支援事業の充実
④子育て支援サービスの充実や地域社会全体で子育てに関わる地域子育て拠点支援事業の推進 (子育て支援サポーターの育成など子育て地域ささえあい事業の推進)
⑤相談支援の充実や各種団体との連携など、家庭児童相談事業の充実
⑥幼保一体化施設として美唄市認定こども園ひまわりの開設
⑦総合相談・権利擁護・ケアマネ支援・介護予防マネジメント等包括支援センターの適切な運営
⑧介護予防事業、健康づくり事業、生活支援事業など地域支援事業の推進
⑨健康診査、健康教育など各種保健施策や疾病予防対策、健康づくりに関する意識啓発等の充実
⑩市民が安心して生活できる安定的な地域医療体制の確立

6 年間スケジュール(3に記載した事項)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①地域福祉活動の支援	福祉のまちづくり事業補助支援(随時)	地域懇談会開催						地域福祉計画(案)	福祉のまちづくり事業補助支援(随時)			
②地域福祉会館整備	光珠内福祉会館屋根、外壁改修工事											
③障がい者地域生活支援事業	通年											
④地域子育て拠点支援・子育て地域ささえあい事業の推進	(通年) ひろば開設による世代間交流による子育て支援の実施		子育て支援サポーター養成講習		ファミリーサポート講習					2014びばいっこフェスティバル		
⑤家庭相談事業の充実			要保護児童対策地域協議会代表者会議					フォトエッセイコンテスト作品審査	フォトエッセイコンテスト表彰式(はみんぐ祭)			
⑥美唄市認定こども園ひまわり開設	認定こども園入園式・開園式		運動会					生活発表会				
⑦地域包括支援センター運営事業	通年											
⑧介護予防等地域支援事業の推進	通年											
⑨健康診査など各種保健施策等の充実	通年 疾病予防対策、意識啓発等											
⑩地域医療体制の確立	地域医療提供体制ビジョンの周知・説明、アクションプランの策定(市立美唄病院の規模・経営形態等の検討、地域包括ケア体制の構築に向けた検討など)											

2 部の経営資源

(平成25年4月1日現在。予算規模は平成25年度予算書から集計)

職員数		予算規模(単位:千円)									
正規	72人	一般会計	3,077,678	介護保険会計	2,546,748	介護サービス会計	76,540	会計	0	全体予算	5,700,966
嘱託	66人	関係職員費	527,166	関係職員費	92,048	関係職員費	143,781	関係職員費	0	関係職員費	762,995
臨時	43人	公債費	26,945	公債費	75	公債費	234	公債費	0	公債費	27,254
計	181人	計	3,631,789	計	2,638,871	計	220,555	計	0	合計	6,491,215

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値(H23決算)	H25目標値	備 考
子育てしやすいまちだと思う市民の割合	H24アンケート 25.0%	36.6%	H27目標値 60.0%
自分が健康だと思う市民の割合	H24アンケート 67.8%	77.0%	H27目標値 80.0%
人口10万人当たり医師数	H22 176.7人		推移をみる指標 目標値設定せず
地域で生活できている障がい者の割合	96.3%	96.4%	H27目標値 96.5%
自立高齢者率	81.5%	82.5%	H27目標値 85.0%

5 事務事業インデックスI期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
4-2	恵風園・恵祥園の民営化	恵風園・恵祥園見直し方針の検討

平成25年度 経済部 運営方針

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを簡条書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
①農商工連携事業の推進	・美唄市産業振興計画
②商工業の振興	・美唄市農業ビジョン
③観光・交流の推進	・美唄市農業経営基盤強化促進基本構想
④第3セクターの支援・見直し	・美唄市農業振興地域整備計画
⑤農家経営の安定化	・美唄市食育推進計画
⑥消費者に信頼される産地づくり	・田園環境整備マスタープラン
⑦森林の保全と活用	・美唄市森林整備計画

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に簡条書で)

①農商工連携推進事業の推進
（１）産業間連携の仕組みづくり（推進体制の強化）
（２）農商工連携助成事業の充実
②商工業の振興
（１）美唄市ホワイトデータセンター構想の実現
（２）中小機構産業用地（空知団地）の譲受検討
（３）食料備蓄基地構想の推進（大規模食糧備蓄・小規模食料等備蓄＜流通備蓄＞）
（４）中心市街地活性化の推進（地域商業活性化事業＜2年目；活性化加速事業～宅配・送迎バス運行等＞）
③観光・交流の推進
（１）情報発信体制の強化
（２）広域連携事業の推進
観光・特産品PRの推進
④第三セクター経営の見直し
（１）第三セクター全体の経営改善
⑤農業経営の体質強化と安定化をめざして
（１）米などの基幹作物の振興（米、麦、大豆）
（２）野菜などを取り入れた経営の複合化
（３）農地の利用集積の促進
（４）生産基盤の整備
（５）地域農業を支える多様な担い手の育成・確保
（６）地域や農業者が主体的に取り組む農業・農村づくり
（７）農業関連施設の管理・運営の効率化
⑥消費者に信頼される産地をめざして
（１）人や環境にやさしい安全・安心な農産物づくり
（２）消費者と生産者の結びつきの強化
（３）農業農村に対する理解の促進
⑦森林の保全と活用
（１）森林の利用と適正管理の推進

2 部の経営資源

(平成25年4月1日現在。予算規模は平成25年度予算書から集計)

職員数		予算規模（単位：千円）									
正規	31 人	一般会計	1,403,293	会計	0	会計	0	会計	0		1,370,735
嘱託	2 人	関係職員費	218,262	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0		197,582
臨時	人	公債費	537,602	公債費	0	公債費	0	公債費	0		515,797
計	33 人	計	2,159,157	計	0	計	0	計	0	合計	2,084,114

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値（H23決算）	H25目標値	備 考
新たに商品化された特産品数	—	—	H27年度まで3商品目標
工業出荷額	158.1億円	▲	H27年度192億円を目標
交流人口（観光入込客数）	36.5万人	▲	H27年度40万人を目標
認定農業者数	495人	現状値維持	現状値維持
ほ場整備済面積	2,806ha	3,756ha	4,486ha
イエス!グリーン表示制度登録集団数	11集団	現状値より増	現状値より増
森林面積	12,265ha	12,265ha	12,265ha

5 事務事業インデックスⅠ期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
6ー8	民営化の検討（（株）美唄未来開発センター）	引続き検討（現在市から代表取締役社長副市長とほか取締役2名）
95-2	営農改善センター（豊葦・北美唄）の見直し	平成24年3月末廃止
95-3	開拓婦人ホームの見直し	平成24年3月末廃止

6 年間スケジュール（3に記載した事項）

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①農商工連携推進事業の推進		産業間連携の仕組みづくり(団体と協議)		食のプリマ	食のプリマ							
				農商工連携助成事業の募集・審査・認定				各団体の農商工連携窓口との協議				
②商工業の振興	○商店街活性化補助事業の支援 ○WDC事業者誘致・除排雪協議(雪山) ○備蓄基地構想実現に向けた活動強化											
			空知団地の譲渡に関する方向性決定					譲渡の場合:取得に向けた契約手続、取得後の活用策等の検討				
③観光・交流の推進	観光PR映像の作成											
		地域力広域連携チャレンジ事業(札幌圏、関東圏、関西圏等、広域観光PR及び観光情報の発信)										
④第三セクター経営の見直し	HCCの経営検討(学生募集のあり方)											
	第三セクター全体の経営改善											
⑤経営所得安定対策事業	・再生協議会総会 人・農地プラン更新に係る調査 経営体育成 交付金説明 青年就農給付金 交付業務(前期分)	人・農地プラン更新作業 (検討会開催)	・再生協議会補助金交付事務 ・農地集積協力金交付対象ある場合 補正対応 経営体育成交付金 ・青年就農給付金追加交付対象ある場合補正対応	・現地確認作業 青年就農給付金 就農状況確認	人・農地プラン更新に係る	人・農地プラン更新作業 (検討会開催)			人・農地プラン更新に係る調	農業振興協議会(数量配分) 人・農地プラン更新作業 (検討会開催) 青年就農給付金 就農状況確認		
⑤鳥獣捕獲等事業	・鳥獣被害防止対策協議会総会 鳥獣捕獲等委託締結(猟友会美唄支部) 鳥獣被害防止対策(実施隊活動) シカ捕獲許可(4～9月末)	アライグマ捕獲報告		キツネ捕獲許可(随時) カラス捕獲許可(随時)		シカ捕獲許可(10～3月末)		野生鳥獣による農作物被害 実態調査				・鳥獣保護員推薦
⑤ 国営農地再編整備事業 美唄茶志内地区				工事実施				実施設計				
								土地評価・換地計画原案作成・一時利用地指定				
美唄地区(上美唄・西美唄地区)	土地改良事業計画事前審査	施行申請	土地改良事業計画・土地改良法による各種手続き・知事協議等							計画確定に向けた法手続		
⑤道営ほ場整備事業 沼の内地区		工事実施										
							確定測量					
								換地計画作成 一時利用地指定				

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
峰岩・中美唄地区						←		一時利用地指定			→	
大富第1・大富第2地区		← 施行申請		← 土地改良事業計画	→	換地委員会設立		換地計画作成			→	
大富第3	←		計画樹立				←	農林水産省審査	→ 新規着工予算の内	← 施行申請	←	土地改良事業計画 →
大富第4	←					計画樹立						→ 政策評価 →
⑤ 排水機場整備事業 (1) 空調設備等整備 (茶志内・上美唄・開発・沼 の内各排水機場)	工事依頼	工事実施		→								
(2) 送油管整備（開発・上 美唄各排水機場）	工事依頼	工事実施		→								
⑤農道離着陸場管理運 営事業	・開港 ←		農道離着陸場運用期間						・シーズン運 用終了 ・市議会条例 改正	・指定管理者制 度説明会		・指定管理収支計 画提出 ・市議会指定管理 者選定
⑥農地・水保全管理支 払交付事業	採択申請 交付申請 ←		共同活動、向上活動の実施 (環境保全)(施設の長寿命化)				実施状況の確認					履行確認、実績報告 →
⑥環境保全型農業直接 支援対策事業	交付申請 ←		地球温暖化防止等に効果の高い営農活動			取組状況確認	取組状況確認		取組状況確認	履行確認、実績報告		
⑦分収造林受託事業		除間伐・作業道設置委託(申請・発注等)						実施計画要望等				
⑦防風林維持管理事業			防風林全刈・縁刈業務委託				野ねずみ駆除 空中散布業務委託					防風林保育管理 業務委託

平成25年度 都市整備部 運営方針

H25.4.22
経営会議資料2
(都市整備部)

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを箇条書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり うるおいづくり ・都市基盤整備 ・景観・緑づくり	美唄市都市計画マスタープラン 美唄市総合交通体系基本計画 美唄市流域関連公共下水道事業計画 美唄市公営住宅ストック総合活用計画 美唄市耐震改修促進計画

2 部の経営資源

(平成25年4月1日現在。予算規模は平成25年度予算書から集計)

		予算規模（単位：千円）									
正規	45 人	一般会計	901, 445	下水道会計	503, 516	水道会計	671, 895	工水会計	38, 119		2, 114, 975
嘱託	4 人	関係職員費	213, 752	関係職員費	58, 852	関係職員費	103, 960	関係職員費	6, 526		383, 090
臨時	5 人	公債費	1, 104, 110	公債費	1, 467, 371	公債費	267, 036	公債費	11, 549		2, 850, 066
計	54 人	計	2, 219, 307	計	2, 029, 739	計	1, 042, 891	計	56, 194	合計	5, 348, 131

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に箇条書で)

- ・道路・橋梁・河川・公園の適切な維持管理
- ・住宅使用料、水道料金、下水道使用料の滞納整理の徹底
- ・水道有収率の向上、耐震化、赤水解消の推進
- ・橋梁長寿命化修繕計画
- ・公園施設長寿命化計画（公園施設等再整備事業）
- ・コミュニティガーデン整備事業の推進
- ・住宅改修促進助成制度の推進
- ・工事コストの縮減、適時発注
- ・住宅や建築物の耐震改修の促進

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値（H22決算）	H23決算	H25目標値	H27目標値	備考
都市機能の満足度	68.6%	68.6%			
道路舗装率	52.2%	52.4%	53.2%	55.00%	
道路除排雪の満足度	42.0%	42.0%			
下水道普及率	72.7%	74.3%	76.5%	81.30%	
公園・緑地の利用率	63.8%	63.8%			

5 事務事業インデックス I 期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
3-2	水道料金の減免規定の見直し 生保世帯の減免	検討
3-3	水道料金の改定	今後の経営状況を踏まえ、改定時期を判断（検討）
3-3	民間委託の推進（水道事業）	継続してさらに検討（桂沢水道企業団との事業統合へ向け検討）
3-4	下水道使用料の減免規定の見直し 生保世帯の減免	検討
3-5	下水道事業の公営企業化	継続してさらに検討

6 年間スケジュール（3に記載した事項）

[illegible]

平成25年度 教育委員会運営方針

H25.4.22
経営会議資料2
(教育委員会)

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを簡条書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
人間性豊かな人づくり ○美唄らしい特色ある教育の推進 ○学力の向上 ○教職員の資質向上 ○教育環境の充実 ○生涯学習の充実	・平成25年度教育行政執行方針 ・第2次美唄市生涯学習推進計画前期計画 ・第2次美唄市子ども読書活動推進計画

2 部の経営資源

(平成25年4月1日現在。予算規模は平成25年度予算書から集計)

職員数		予算規模(単位:千円)									
正規	39 人	一般会計	628,057	会計	0	会計	0	会計	0		628,057
嘱託	16 人	関係職員費	386,584	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0		386,584
臨時	69 人	公債費	169,797	公債費	0	公債費	0	公債費	0		169,797
計	124 人	計	1,184,438	計	0	計	0	計	0	合計	1,184,438

部の構成	学務課	指導室	生涯学習課	図書館
------	-----	-----	-------	-----

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に簡条書で)

○美唄らしい特色ある教育の推進 グリーン・ルネサンス推進事業:食農教育を通じた考える力の育成	
○学力の向上 確かな学力育成プランの推進:ICTの活用、地域人材の活用、複式授業学習支援員の導入(新規)、家庭への啓発等	
○教職員の資質向上 教職員研修の充実:校内研修の充実、ふるさと美唄研修、ICT研修、専門研修等	
○教育環境の充実 学校安全の推進:大規模改修、通学路の安全対策、安全マップの整備 特別支援教育の推進:交流事業の実施、特別学習支援員の導入(新規) 学校図書の充実等:図書購入、図書館司書による図書室支援等 健康管理:小学校でのフッ化物洗口の実施(新規)	教育相談機能の向上 その他 幼稚園振興計画の改定
○生涯学習の充実 体育施設の整備:総合体育館、温水プール、陸上競技場器具庫、野球場等 学習機会の充実:市民カレッジの開催、美唄サテライト・キャンパスの実施、キッズ・アスリートスクールの開催等 子どもの読書活動の活性化:ブックスタート事業、読み聞かせボランティアの活動促進、学校図書室訪問 道立図書館「学校図書館環境改善事業」の活用(新規)モデル校1校(新規)	

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値(H22決算)	H23決算	H25目標値	H27目標値	備考
家庭学習を1時間以上行う子どもの割合	小学6年生 34.4%	小学6年生 23.8%	現状値より引き上げる	現状値より引き上げる	H24 36.2%
	中学3年生 50.9%	中学3年生 77.2%	同上	同上	H24 51.2%
学習内容を理解している児童・生徒の割合	63.9%	72.3%	同上	同上	H24 64.7%
	不登校児童生徒数 26人	31人	現状値より減少させる	現状値より減少させる	H24 19人
生涯学習・スポーツに取り組む市民の割合	39.4%	42.3%	45.0%	38.0%	
市内で芸術・文化鑑賞をした市民の割合	23.9%	34.1%	35.0%	30.0%	

5 事務事業インデックス I 期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容
2-2	三井美唄幼稚園の配置見直し	H25認定こども園に移行
2-4	体育センターの廃止	H23実施→H26実施予定(直営で開館延長)

6 年間スケジュール(仮)(3に記載した事項)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
グリーンルネサンス推進事業	体験学習準備	検討委員会① 体験学習(田植え等)		生育観察、 生き物調査等		収穫体験		収穫祭	シンポジウム開催	検討委員会② 成果検証	次年度計画作成	
確かな学力育成プランの推進	全国学力テスト 標準学力検査	学校改善プラン の見直し	学力向上P会議 の設置・検討	キッズ漢字検定	学生ボラン ティアの活用	全国学力テスト 結果通知	学力向上プロジェク ト会議での分析考察	分析考察まとめ 親学開催	全国学テ公表 キッズ漢字検定	学生ボラン ティアの活用		
教職員研修の充実	公開研究校の指定	校内研修実施	教研協部会での 研修実施	ふるさと研修 ICT研修	カウンセリング研修	公開研修実施	校内研修等	校内研修等	校内研修実施	校内研修等	校内研修等	
学校安全の推進等	通学路点検等	フッ化物洗口実施	通学路標識設置	大規模改修施工	安全マップの 更新・作成			大規模改修完了				
特別支援教育の推進	支援員配置	連携協議会役員会	専門家チーム会議	就学指導委員会① 宿泊学習		合同交流会	専門家チーム会議	コーディネーター 研修	就学指導委員会②	スタートシート による引継	就学指導委員会③	連携協議会役員会
幼稚園振興計画の改定	前計画の成果検証	検討組織設置	改定案検討	同左	同左	同左	改定案まとめ	教育委員会議 で素案まとめ	素案議会説明	パブリックコメン ト	修正作業	計画確定
体育施設の整備	工事等発注準備	総合体育館 改修実施設計発注	陸上競技場器具庫 解体工事	総合体育館 バスケゴール等更 新	温水プール設備更 新		陸上競技場 器具庫更新	野球場バック スクリーン改修	総合体育館改修 実施設計納品			
生涯学習の充実	郷土史料館 開館準備	郷土史料館開館 サテライトC開講	キッズアスリート スクール開校	市民カレッジ開講	キッズアート スクール開校	ピパオイヘルシー ロードレース	市民文化祭 市民体育祭	教育講演会				
子どもの読書活動の活性化	ブックスタート (7か月児、3歳児)	子どもの読書 週間特別展	学校図書室訪問	平和図書コーナー (8月)	後藤竜二作品読書 感想文コンクール	図書館システム更新	読書感想文 コンクール表彰式	読書週間特別展		読み聞かせボランティア学校派遣(随時)		

H25.4.22
経営会議資料2
(病院事務局)

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①改革プラン、健全化計画推進	進行管理					国へ健全化計画実施状況報告を提出						
②改革プラン、健全化計画点検評価表の作成と公表		決算終了後点検評価表の作成□			財政健全化計画推進市民委員会等への説明			公表（メロディー）				
③医療スタッフの確保	通 年											
④医療機器等の整備	C T装置、透析用粉末溶解装置の導入の他必要に応じて対応											
⑤信頼される病院づくりのための事業	・病院トピックスを隔月発行		・院内ワークショップの開催（市民との交流事業の実施）			・市民意見の集約（随時）						
		・市民に身近な病院づくり事業	出張健康相談				・市民に身近な病院づくり事業	・市民に身近な病院づくり事業	出張健康相談			
⑥今後の病院のあり方についての検討	保健福祉部をはじめ関係機関等との連携により検討を進める						親と子のふれあいまつり					
⑦会計制度の見直し	各影響項目の見直し整理□ □								新年度予算作成	見直し整理の継続		
				システム改修			システム試運転			関係規則等の改正		

平成25年度 消防本部 運営方針

H25.4.22
経営会議資料2
(消防本部)

1 部の業務目標

(部の使命、目指す姿などを箇条書で)

項 目	根拠となる計画・指針等
消防の使命は、市民と連携を図り災害の低減を目指すとともに災害発生時には２４時間体制という組織力をもって迅速・確実に対応し災害を最小限に抑え、まちづくりの基本である「市民生活の安全と安心」を確保することです	・「安全と安心なまちづくり」のための消防体制の充実 ・地域に根ざした火災予防による安全なまちづくりの推進 ・迅速・的確な災害対応による安心なまちづくりの推進

3 重点的に取り組む事項

(部の業務目標を達成するために予算要求する事項を中心に箇条書で)

- ・防火・防災意識の向上
- ・防火対象物等の査察の充実
- ・住宅用火災警報器の設置促進
- ・各種災害への対応力の強化
- ・救急業務の高度化
 - 救急救命士研修・実習
- ・消防施設・車両・装備の充実強化
 - ① 消防車両整備事業
 - ② 消防水利整備事業
- ・消防団の充実強化
- ・消防救急無線のデジタル化
 - 基本設計

2 部の経営資源

(平成25年4月1日現在。予算規模は平成25年度予算書から集計)

職員数		予算規模（単位：千円）								
正規	46 人	一般会計	112,134	会計	0	会計	0	会計	0	112,134
嘱託	4 人	関係職員費	354,844	関係職員費	0	関係職員費	0	関係職員費	0	354,844
臨時	0 人	公債費	0	公債費	0	公債費	0	公債費	0	0
計	50 人	計	466,978	計	0	計	0	計	0	合計 466,978

4 部の業務目標の達成度を測る指標

(びばい未来交響プラン前期基本計画から選択)

指標名	現状値（H22決算）	H23決算	H25目標値	H27目標値	備考
火災による死傷者数	2人	0人	0人	0人	
住宅用火災警報器設置率	46.4%	60.6%	100.0%	100.0%	
消防水利の充足率	88.7%	89.2%	90.0%	91.0%	
救急救命士配置数	12人	13人	14人	14人	
救急講習会受講者数	857人	1,323人	1,500人	1,500人	

5 事務事業インデックス I 期行財政改革掲載事項

No.	実施項目	実施内容

6 年間スケジュール（3に記載した事項）

[illegible]